

多摩美術大学
大学院

グラフィックデザイン

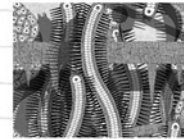
表現系修了制作展

2007年2月5日 | 月 | - 2月23日 | 金 |



HIGURE17-15cas
contemporary art studio

多摩美術大学 大学院
グラフィックデザイン
表現系修了制作展
2007年2月5日 | 月 | - 2月23日 | 金 |



水江 未夏 / MIZUE Mirai
『FANTASTIC CELL』から4年、動画アニメーションの制作が完了しました。学生時代から動画やウェブに作品を制作してきましたが、今回の修了制作『LOST UTOPIA』は、その集大成になります。誰も見たことがない独特な映像世界をお楽しみください。



朝比 祐輔 / HORAGUCHI Yusuke
人間には人間にしか表現できないものがある。美しい時、美しい時、美しい時、そう思った感情や気配を人間でどう表現していったらよいのだろう。私は人間アニメーションを制作する上でそういったことを考える。

私達多摩美術大学大学院グラフィックデザイン表現系2年生は、この度修了制作展覧会を開催いたします。多摩美術大学大学院では一人一人が自分の研究テーマを設定し、2年間徹底的に追求してきました。

今回の展覧会に参加するのは、グラフィックデザイン研究領域の中のイラストレーション研究グループ5名とアニメーション研究グループ2名の計7名です。

イラストレーション、アニメーションという表現には、個人の考え方や好みが非常に強く反映されます。私達はまず自分自身と深く向き合い、表現したいテーマを突き詰め、そして今度はどうしたらそれが人に伝わるのかを考えて2年間制作と研究に打ち込んできました。その過程で各々が考えた事、悩んだ事、発見した事、その総決算となるのが今回の展覧会です。7人が出した答を是非ご覧下さい。



李秉輝 / LEE Peng Tee
民族と美術のテーマで、何を表現すれば適切かと考え、現代美術のような繊細なものではなく、荒っぽく、鬼のたてまつりとなら、必や鬼のたてまつりものではなかった民族の原点を辿いだろう、私はそう思う。



生方アレクサンドラ / UBUKATA Aleksandra
私は西洋のおとぎ話を『日本』という舞台に置き換えるというコンセプトで制作しています。おとぎ話の主人公が日本を渡られた時、異なる文化の中で新しい世界が生まれるのです。



丁偉 / DING Wei
イラストレーションというものは、絵をかいた人から見てもらうの感覚や、想像を表現することであると思っている。私は絵を描く前にアイデアを出すことが、一番重要だと感じる。ここで、想像を表現すれば、いろいろな良いアイデアの作品が出てくると思う。



赤毛史朗 / ICHIGE Shiro
私は制作する時に、音楽から多くのインスピレーションを得ます。歌われたコードジャズのように、画面から音楽が聞こえてくるようなイラストレーションを目指して制作しています。



小野寺重雄 / ONODERA Shigehiro
私の作品テーマは『グラフィックデザイン』です。社会の中で生きていく経験、現実と不真、自己嫌悪などの心の闇を描くことで、不快の中の快感を表現しています。

2007.02.05 | Mon | - 02.23 | Fri |

平日 12:00 ~ 20:00
Monday
土日祝 11:00 ~ 20:00
Sunday & Holiday
休館日 火曜日
Closed on Tuesday

HIGURE17-15cas
contemporary art studio

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里3丁目17-15
3-17-15 Nishinippori, Arakawa-ku, Tokyo 116-0013
T: 03-3823-6216 F: 03-3823-6217
<http://figure1715cas.bufsiz.jp/>



JR山手線/京成線 日暮里駅北口改札出 西口から徒歩8分
JR山手線/地下鉄千代田線 西日暮里駅 徒歩6分
6 min. walk from West Exit of Nishinippori Station
Jen JR Yamanote and Tokyo Metro Chiyoda line
6 min. walk from North Exit of JR Nippori Station

タマビ

© Tama Art University, 2007

